

講演

カメラマン小川忠博氏 ポルトガル植民地 アフリカ解放区を訪ねて



隣国、セネガル国境を越え解放区に入るゲリラ。隣国は国境にそって聖域を提供し、国境を越えて武器も物資もゲリラ・農民の頭、肩に載せられ運び込まれる。10余年の戦い(1963～1974)は、大地と時を友とし、解放区を広げ、国造りを始める闘いであった。

講演者プロフィール:

小川忠博(写真家)

週刊誌、月刊誌の取材のかたわら、各種スリットカメラなどを開発し、美術・考古学分野に新しい視点を提供する。1973年『太陽』(平凡社)にて、モザンビーク解放闘争をルポ。著書に『森と精霊と戦士たち・ポルトガル領アフリカ解放闘争写真報告』(亜紀書房)、『ゲリラの朝』(朝日ソノラマ)、『展開写真による中国の文様』(平凡社)、『縄文土器大観』全4巻(小学館)など。著書準太陽賞、準朝日広告賞を受賞のほか、2010年には文化庁長官表彰を受ける。

2019. **12月20日**(金)

10:55-12:35

場所: 上智大学中央図書館

L921

申し込み不要・入場無料

小川忠博氏 写真展

知られざるアフリカの独立闘争

—アフリカ人の闘いとポルトガル・カーネーション革命—

日時:

2019年**12月17日**(火)— 2020年**1月17日**(金)

場所:

上智大学中央図書館**1階展示スペース**

※入場無料

※学外の方は図書館入口で係員にお伝え下さい

※中央図書館の開館時間については、

大学公式HPをご確認ください



【主催】上智大学ヨーロッパ研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学中央図書館7階721B

Tel: 03-3238-3902E-mail: i-europe@sophia.ac.jp